はじめに

「受験古文」の最終目標は、**「初見の古文の文章を辞書なしで読めて、問題が解けること」**です。
そのために必要な三つの要素は、**「文法・単語・読解のルール（古文常識・作品常識含む）」**です。
この講座は、その一つである「文法」をきちんと学び終えた人が対象の講座です。
「文法」をまだ学習していない人は、先に『文法編』の講座を学習しましょう。

第一講は「入門編」として、**「重要単語」**、短文の**「品詞分解」**を扱います。
第二講～第十講は、学校でも扱うような有名な文章を用いて、
主語把握方法・会話文中の主語判断法などの**「読み方」**を学習しながら、**「読解練習」**をします。
「読解練習」をしながら、恋愛・出家・時刻などの**「古文常識」**、
古文を読むうえで知っておくべき藤原家の関係や、清少納言・紫式部について、さらに**「作品常識」**も学習します。
第十一講～第二十講は、いよいよ実際の入試問題を使用した**「実践演習」**です。

よって、本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学習する」という意味ではありません。
基本から説明をして、実際の大学入試問題（標準レベル）も解ける力がつくように構成してあります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

他レベルの読解編の講座との大きな違いは、

●各チャプター時間が短時間〔チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。〕

●入門編として「単語」にも焦点をあてて解説〔どんな単語が大事なのか、また、覚えるコツなど。〕

●実践演習の前に、「読み方」を重視した「読解練習」を実施し、段階的に力を付ける構成

〔題材は、学校の授業でも扱うような有名な文章から取り上げました。学校の予復習にも最適。〕

●それらを踏まえた上で、実践演習にチャレンジ！

よって、最終的に身に着く力は、『高１・高２　古文〈読解編〉』と違いはありません。扱っている題材自体は違いますので、本講座が終わり、さらに演習問題を実施したい場合は、そちらの講座に取り組んでいただいてもかまいません（その場合、最初の方の講は簡単に感じると思いますので、解いた上で、先にテキスト解答を見て、全問正解であれば動画は飛ばすなど、臨機応変に取り組んでください）。

それでは、初見の文章を自力で読むことができるように、一緒に頑張りましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

第一講〜第十講までは**予習不要**です。

第十一講の**チャプター１**は**予習不要**ですが、**残りのチャプター**は、「予習する・しない」は好きな方を選択してください。

第十二講以降は、前回までに学習したことを踏まえて、**予習をしてください**。

ノートに本文を写すとか、そういう作業は一切不要です。

予習はテキストに直接書き込んでかまいませんので、辞書などは使わずに自力で解きましょう。

回数を重ねる度に、どんどん自力で自信をもって解けるようになっていくはずです！

第十二講以降に関しては、予習が終われば、なるべく時間をあけずに該当講座の動画を見て下さい。

時間が経ってしまうと、せっかく予習をしたのに、どんな話だったか、どうしてその解答を選んだのか忘れてしまうので、覚えている間に見ることが重要です。

あらかじめ板書している本文に、書き込みをしながら授業を進めていきます。

私が黒板に書くことを、テキストの本文に同じように（色は一色でも何色でも可）どんどん書き込んでください。

こちらも回数を重ねると、第十二講以降は、予習の段階で、自分で先に本文中に必要な印や記号がどんどん付けられるようになるはずです。そうなれば、自分が予習の段階で書いたものと、私が書いているものが同じかどうかという目線で動画を見るようにしてください。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

講義を見終えたら、復習を必ずしましょう。「復習＝問題を解きなおす」のではなく、
①　講義の中でお伝えした**「読解ルール」**（**「古文常識」「作品常識」**を含む）を覚えこむ
②　本文に付けた**印や記号が、どういう根拠でつけたもの**なのか、また**「主語」をどのように確定したのか**を再確認する
③　各講で触れた**「単語」**を覚える
この３点を重点的にしてください。
実践演習で間違えた問題があった場合は、「なぜ」間違えたのか、その原因になるところをきちんと潰していきましょう。

復習が終われば後ろにある「復習問題」も解きましょう。
ただし、『読解編』の講座ですので、単発問題の形式ですと、必然的に単語や文学史などの問題しか出題ができませんので、あくまでもそれらの確認にしかなりません。
「読解」が自力でできるようになるためには、さきほどの３点の復習に重点を置いてください。
そして「単語」の勉強もお忘れなく。
単語帳（学校指定のものでも、自分の好きな市販のものでもなんでもかまいません）を一冊しっかりと仕上げましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　重要単語／品詞分解 …… p.6
第二講　主語把握方法⑴／指示語（『伊勢物語』　すけるもの思ひ）…… p.20
第三講　主語把握方法⑵（『古今著聞集』　能は歌詠み）…… p.30
第四講　挿入句（『平家物語』　能登殿の最期）…… p.37
第五講　古文常識「正装」／「恋愛」（『伊勢物語』　初冠）…… p.47
第六講　古文常識「出家」（『大鏡』　花山院の出家）…… p.60
第七講　「藤原家」（『大鏡』　競べ弓／面を踏む）…… p.71
第八講　「清少納言」と「紫式部」（『枕草子』　中納言参り給ひて／『紫式部日記』　清少納言）…… p.79
第九講　古文常識「病気」／「死」（『源氏物語』　葵）…… p.88
第十講　古文常識「月の異名」「時刻」「方角」「建物」など（『方丈記』　安元の大火）…… p.100
第十一講　入試問題を解く手順／実践演習⑴　『新花摘』…… p.112
第十二講　実践演習⑵　『栄花物語』…… p.121
第十三講　実践演習⑶　『源氏物語』…… p.130
第十四講　実践演習⑷　『発心集』…… p.138
第十五講　実践演習⑸　『古本説話集』…… p.145
第十六講　実践演習⑹　『堤中納言物語』…… p.153
第十七講　実践演習⑺　『白露』…… p.161
第十八講　実践演習⑻　『夜の鶴』…… p.170
第十九講　実践演習⑼　『讃岐典侍日記』…… p.175
第二十講　実践演習⑽　『平家物語』…… p.181

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　重要単語／品詞分解

★「重要単語」をおさえる

●「古文特有語」＝現代語にはなく、古文で使われる単語。

（例）

かしづく【傅く】 動
❶大切に育てる
❷大切に世話をする

「かしづく」は「かしら（頭）を地につける（＝かしらづく）」からできた言葉だと考えられている。
それくらい相手に対して敬意をはらったということから**「大切に育てる」**、**「大切に世話をする」**という意味になる。
子供に対して使っているならば❶、大人に対して使っているならば❷。

うたてし 形
❶嘆かわしい
❷情けない

副詞「うたて」から派生してできた言葉。「うたて」の成り立ちは、「うたうた」➡「うたた【転】」➡「うたて」。
「うたた」の原義は**「物事が進行し続けて程度がはなはだしくなる」**。
副詞「うたて」は、**「自分の考えとは逆にどんどん異常に進みすぎる際の不快感」**の意味で使うようになる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ここから派生してできた形容詞が「うたてし」。そんな不快な状態が❶**「嘆かわしい」**し❷**「情けない」**のです。

関連

うたて　副…❶ますます　❷異様に　❸不快に・情けなく

うたてあり　連語…❶いやだ・嘆かわしい

うたてげなり　形動…❶異様な感じだ　❷いやな感じだ

くちをし【口惜し】　形

❶残念だ

❷つまらない

❸卑しい

「くちをし」は**「期待外れだったときの落胆・不満な様子」**が原義。「くちをし」の「をし」は「惜しい」。そういう落胆した気持ちが「くちをし」。期待したのにダメだったら、❶**「残念」**だし❷**「つまらない」**ですよね。あとは「残念な身分」＝「身分が低い」⬇❸**「卑しい」**という意味もある。

やむごとなし【止む事無し】　形

❶捨ててはおけない

❷格別だ・並々ではない

❸高貴だ

「止む事無し」＝**「やめることができない」**のです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

世話をしたり、面倒見たり、それをやめることができない➡「ほうっておけない」ということ。
それが❶**「捨ててはおけない」**。**放置しておけない**ということ。
そして、それくらい大切なもの➡❷**「格別だ」**や❸**「高貴だ」**の意味が生じた。

ゆかし【床し】 形
❶見たい・聞きたい・知りたい
❷心がひかれる・なんとなく慕わしい

動詞「行（ゆ）く」に対応する形容詞。**「心が進んで行く思い・心がひきつけられる」**が原義。
その惹かれる対象によって**「見たい」**、**「聞きたい」**、**「知りたい」**などに訳し分けているだけ。

● **「古今異義語」**＝現代語にも同じ単語はあるが、古文では意味がまったく違う単語。

（例）

あく【飽く】 動
❶満足する
❷あきあきする

現代語の「飽きる」は❷。
古文の「飽く」は、飽きてしまう前の「満足している状態」の⊕の意味でよく用います。
「満足する」状態が古語の「飽く」。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

おどろく【驚く】 動
❶はっと気づく
❷目がさめる
❸びっくりする

「おどろく」は**「意外なことに出会い、心の平静を失う」**が原義。
「はっ」と気づいたとき＝心の目が「パッ」と大きくなるイメージ。
目が一番「パッ」って大きくなるのは「閉じた状態から開いた状態」➡**「目が覚め」**たとき。

にほふ【匂ふ】 動
❶美しく染まる
❷つややかに美しい
❸栄える
❹香る

漢字で「匂ふ」ですが、もともとは**「丹秀ふ」**でした。
「丹」＝赤い色、「秀」＝特に目立つところ。つまり**「丹秀ふ」**は**「赤色が目立つ」**の意味。
よって、私たちは「匂う」＝「嗅覚」で捉えますが、古文の時代では「匂ふ」＝まず**「視覚」**だと考えましょう。
美しく照り輝くようなのが「にほふ」です。

関連　にほひ**【匂ひ】**名…❶色が美しく映えること
❷かおり

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

いとほし 形
❶かわいそう・気の毒だ
❷いやだ
❸いとしい・かわいい

「いとほし」は、動詞「いとふ【厭ふ】」（＝いやだと思う）や、形容詞「いたはし【労し】」（＝気の毒だ）から派生した言葉と言われている。**「かわいそうで見ているのがいやだ」**という気持ちが原義。

かげ【影】 名
❶光
❷姿・形

「かげ」の原義は**「光輝くもの」**。「月影」は「月の**光**」、「日影」は「太陽の**光**」。**❶「光」**があるから、ものの**❷「姿・形」**がわかる。「人影」は「人の**姿**」です。

やがて 副
❶そのまま
❷すぐに

「やがて」の原義は**「状態・時間に隔たりがなく、引き続く様子」**。状態が**❶「そのまま」**、時間が**❷「すぐに」**です。現代語と同じ「そのうち」という意味もあるが、重要なのは「現代語とは真逆」の意味！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

●「漢字」で覚えておくと便利な単語

（例）

さはる【障る】 動
❶さしつかえる・さまたげられる

「**差し障り**（さしつかえ）」の「**障る**」。「障害物（コースに**さまたげ**がある）競争」などの「**障**」でもあります。

関連　さはり【障り】名…❶さしつかえ・さまたげ

うし【憂し】 形
❶つらい
❷いやだ

「**憂し**」は「**憂鬱**」の「**憂**」。憂鬱だと❶「**つらい**」し、❷「**いや**」ですね。

関連　こころうし【心憂し】形…❶つらい　❷いやだ

あてなり【貴なり】 形動
❶高貴だ
❷上品だ・優雅だ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

関連

あてはかなり【貴はかなり】形動…❶高貴な様子、優美な様子

あてやかなり【貴やかなり】形動…❶高貴な様子、優美な様子

あてびと【貴人】名…❶高貴な人・上品な人

かたはらいたし【傍ら痛し】 形

❶みっともない
❷気の毒だ
❸恥ずかしい

「傍で見ていて痛い」＝❶**「みっともない」**が原義。
たとえば、横断歩道でおもいっきりコケた人を見たら❷**「気の毒」**ですね。それが、「自分」だったら❸**「恥ずかしい」**！

ところせし【所狭し】 形

❶場所が狭い
❷窮屈だ・気づまりだ
❸堂々としている
❹大げさだ・仰々しい

漢字で**「所狭し」**。❶**「場所が狭い」**が原義。心理的に「狭い」と感じる⬇❷**「窮屈だ・気づまりだ」**。
こちらが気詰まりに思ってしまうほど、相手が❸**「堂々としてい」**たり、❹**「大げさだ」**ったり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

あきらむ【明らむ】 動
❶明らかにする・物事をよく見る・見極める

いらふ【答ふ・応ふ】 動
❶答える・返答する

関連　いらへ【答へ・応へ】名…❶返事・返答

ことわり【理】 名
❶道理
❷理由

❶「**道理**」と❷「**理由**」の「**理**」。「道理」とは「ものごとの正しい筋道」のこと。

関連　ことわりなり【理なり】形動…❶道理だ・もっともだ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★正しく品詞分解できることが重要（文法の復習）

（例）　言はではえこそあらぬものなれ。

問一　「留守ゆゑ、大納言殿を待ちもせられぬところへ…」の傍線部の品詞分解として正しいものを、次の中から選べ。

ア　待ち／も／せられ／ぬ
イ　待ち／も／せ／ら／れ／ぬ
ウ　待ちも／せら／れ／ぬ
エ　待ち／も／せ／られ／ぬ
オ　待ちもせ／られ／ぬ

問二　「そなたはこれを落とし給はぬか。」の傍線部の品詞分解として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　動詞＋補助動詞＋助動詞＋助詞
イ　動詞＋補助動詞＋助動詞＋助動詞
ウ　動詞＋助動詞＋助動詞＋助詞
エ　動詞＋助動詞＋助動詞＋助動詞
オ　動詞＋助詞＋助動詞＋助詞
カ　動詞＋助詞＋助動詞＋助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　「あゆみいでさせ給へば、ふとゐさせ給へりしこそ、…」の傍線部の品詞分解として正しいものを、次の中から選べ。

ア　副詞・動詞・助動詞・助動詞・補助動詞・助詞・助詞
イ　副詞・動詞・助動詞・補助動詞・助動詞・助動詞・助詞
ウ　動詞・助動詞・補助動詞・助動詞・助動詞・助詞
エ　形容詞・助動詞・補助動詞・助動詞・助詞・助詞

問四　「二人してになふてこそよかんめれ」の傍線部の品詞分解として正しいものを、次の中から選べ。

ア　形容詞語幹＋助動詞＋助動詞
イ　形容詞連体形＋助動詞
ウ　形容詞連体形＋助動詞＋助動詞
エ　形容詞語幹＋助動詞＋助詞
オ　形容詞連用形＋助動詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★現代語訳・解釈＝（傍線部の）「重要単語」・「文法」に注目する

〔例題〕「さらば、なにかは下らせたまふ」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　君がそのように思い悩んでいらっしゃるなら、どうして京をお離れになることがありましょうか。
イ　君はそのように思い悩んでいらっしゃるのに、どうして私だけ行かせようとなさるのでしょうか。
ウ　私はそのように思い悩んでおりますけれど、どうして君を京にお残しすることができましょうか。
エ　私がそのように思い悩むことがあったとしても、どうして君をお連れすることがありましょうか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「うちおどろきたれば、うたてくて寝たりつる人一人もなし」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　火事だとびっくりして、明らかに寝ていた人は一人もいない
イ　火の粉が飛んでいることにきづくと、予想外に寝ていた人は一人もいない
ウ　ふと目を覚ましたところ、情けなく寝ていた人は一人もいない
エ　そばの人を起こそうとすると、ぐっすり寝ていた人は一人もいない

問六　「なかなか黄泉路のさはりともなりぬべし」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　けっして極楽往生の妨げとなってはならない。
イ　めったに現世への未練が強くなることはあるまい。
ウ　むしろ自分の運命を強く自覚させてしまうはずだ。
エ　死ぬ覚悟の中途半端さがより一層際立ってしまうだろう。
オ　かえって死出の旅に赴く妨げとなってしまうに違いない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　復習問題

①「いとほしければ」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　愛すべき言い方だったので　　イ　厚かましかったので
ウ　気の毒だったので　　エ　感心したので

②「所せくこそ」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　仰々しくて　　イ　安っぽくて
ウ　不釣り合いで　　エ　珍しくて

③「あてになつかしう」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　どこか懐かしく　　イ　じつにあどけなく
ウ　予想外に親しみやすく　　エ　高貴で近寄りがたく
オ　上品で心ひかれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「待ちうけ給ふこともあるまじければ、さやうに…」の傍線部の品詞分解として正しいものを、次の中から選べ。

ア　あるまじ／けれ／ば　　イ　ある／まじ／けれ／ば
ウ　あるま／じ／けれ／ば　　エ　ある／まじけれ／ば
オ　ある／まじけ／れ／ば

⑤「こちはえまゐるまじ。」の傍線部の品詞分解として正しいものを、次の中から選べ。

ア　え／まゐる／まじ　　イ　えまゐる／まじ
ウ　え／まゐるまじ　　エ　え／まゐるま／じ
オ　えまゐるま／じ

⑥「心やすき事もなかんめるを、尼になりて…」の傍線部の品詞分解として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　係助詞＋形容詞＋助動詞＋助動詞＋接続助詞
イ　係助詞＋形容詞＋助動詞＋接続助詞
ウ　間投助詞＋形容詞＋助動詞＋助動詞＋間投助詞
エ　間投助詞＋形容詞＋助動詞＋助動詞＋接続助詞

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答／現代語訳

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　模範解答

〈例題〉ア

問一　エ

問二　ア

問三　イ

問四　イ

問五　ウ

問六　オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講　解答解説

〔解説〕

① 「いとほし」は重要単語で、「気の毒だ」「いやだ」「かわいい」の意味。よって、正解はウ。

② 「所せし」は重要単語で、「場所が狭い」「気詰まりだ」「堂々としている」「仰々しい」の意味。よって、正解はア。

③ 「あてなり」は重要単語で、「高貴だ」「上品だ」の意味。したがって、エかオ。「なつかし」も重要単語で、「心がひかれる」「親しみやすい」の意味。よって、正解はオ。

④ 「あるまじければ」は、ラ変動詞「あり」の連体形＋打消系統の助動詞「まじ」の已然形＋接続助詞「ば」。よって、正解はエ。「けれ」を過去の助動詞「けり」だと考えた人がいれば、助動詞は接続を確認するということを忘れないように。「まじ」は連用形ではないので、助動詞「けり」は接続しない。

⑤ 「えまゐるまじ」は、副詞「え」＋敬語の本動詞「まゐる」の終止形＋打消系統の助動詞「まじ」。よって、正解はア。ちなみに、「え〜打消」は「〜できない」。

⑥ 「もなかんめるを」は、係助詞「も」＋形容詞「なし」の連体形「なかる」の撥音便「なかん」＋推定の助動詞「めり」の連体形＋接続助詞「を」。よって、正解はイ。

〔解答〕

①　ウ　②　ア　③　オ　④　エ　⑤　ア　⑥　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。